



今年の「ミツバチ」は超真面目！

## 足立区生物園産 2 回目のハチミツ販売

令和5年10月11日 送付枚数：1枚

！ここがポイント！

### ■生物園では珍しい2回目の採蜜！

大好評の生物園産のハチミツ「足立区生物園のハチさんハチミツ」。8/3 から販売してすぐに完売となりましたが、その後もミツバチたちが頑張っ

### ■蜜の量は前回以上！

8/3 販売のハチミツは巣板6枚・約10kgの蜜を搾り約90個の瓶で販売しました。今回は、ミツバチたちが越冬するための蜜を残してもなお、巣板8枚・約15kgの蜜を搾ることができ137個の瓶となりました！

### ■一生懸命に集めてくれました！

飼育員中村さんは、養蜂に携わっているとミツバチたちの性格がよく分かるそうで「今年のミツバチは真面目」と言います。ミツバチたちの数は昨年とほぼ同じですが、今年夏の1回目の採蜜後も、せっせと働くほどの真面目ぶりです！



### ◆秋のハチミツをぜひ！

前回発売のハチミツは後味が柑橘系でしたが、今回のハチミツは秋の花々から集められたためか、癖のない甘さで後味がスッキリです。そのままでも食べやすく、何にでも合うような美味しいハチミツとなっています。

ミツバチは、「女王バチ」「働きバチ」「雄バチ」の3種類でひとつの「群」を構成します。その数は1群で2~5万匹とされています。ある時期になると、女王バチは新たな女王バチに巣を譲り、自分は働きバチの半数を引き連れて別の場所に巣をつくる「分蜂」を行うのでミツバチの数は減っていきます。そのため養蜂では、ミツバチの数を維持するため新たな女王バチをつくらないように管理しています。その他、スズメバチの襲来などミツバチの数を維持するには大変な苦労があります。今年の生物園の養蜂は、この管理が上手くいったのか例年以上に蜜が採れました。

ぜひ、取材・報道をお願いします。



### 商品の概要

- 販売日：10月6日（金）より
- 販売場所：足立区生物園（足立区保木間2-17-1）
- 販売価格：1,500円（税込）
- 内容量：110ml ※ 数量限定です！

### ■本件に関する問い合わせ先

足立区生物園 園長：関根 担当：ミュージアムショップ 綱島 広報：大川 ☎03-3884-5577

### ■発信者

政策経営部 報道広報課 報道担当 谷内 ☎03-3880-5816 〓070-5598-7874